

ひばりが丘中学校及び田無第二中学校の通学区域の見直しについて

■通学区域の見直しについて

平成 33 年度のひばりが丘中学校の移転・建替に伴う新たな通学区域については、「ひばりが丘中学校及び田無第二中学校通学区域等に関する地域協議会」の検討結果報告書に基づき以下のとおり決定しま

■通学区域の検討について

平成 26 年 2 月に、「西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会」でとりまとめた 12 案の通学区域を、次の「基本的な考え方」について再検証を行いました。

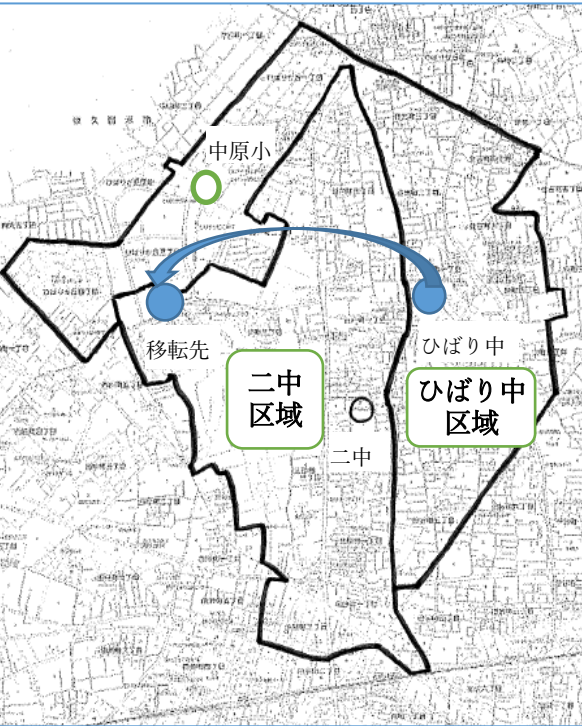
【基本的な考え方】

- 施設の移転による通学距離を踏まえた見直し（いびつな通学区域の解消）
- 両校の一定の学校規模と学校教育・部活動の充実（生徒が切磋琢磨できる環境づくり）
- 教員の確保も含めた学校経営の安定化（計画的な教員配置）

＜具体的な検討の視点＞

- ・生徒数、学級数と学校施設のバランス（生徒数、学級数はマンション開発等の状況も考慮）
- ・小学校から中学校の進学先
- ・通学距離と通学区域のわかりやすさ

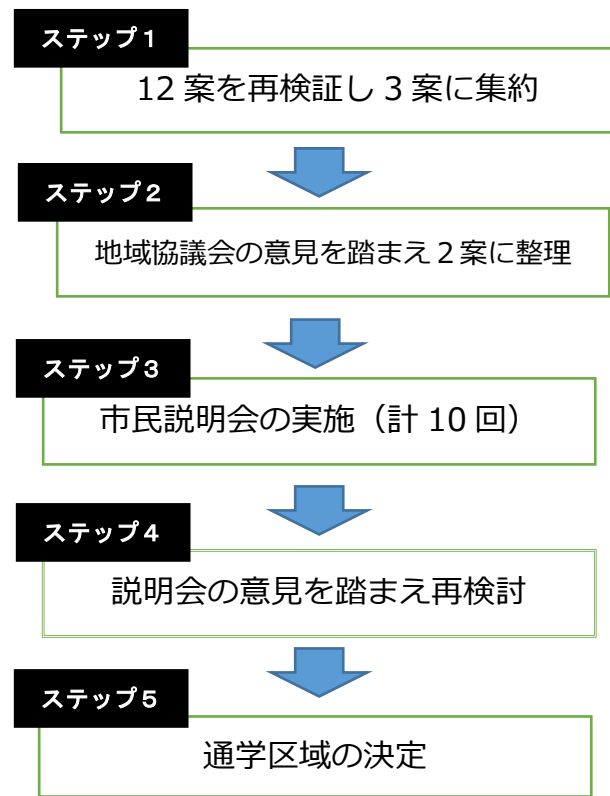
■現在の通学区域と移転先



■中間まとめの説明会を実施

市民説明会を平成 29 年 11 月 18 日から 12 月 16 日にかけて、計 10 回開催しました。その中では、丁寧な情報提供、通学区域の変更に伴う配慮、移転スケジュール、通学における安全配慮などのご意見等をいただきました。今後もいただいたご意見等を踏まえ検討を進めていきます。

■地域協議会における検討の流れ



■移転に伴い対象となる生徒と手続の検討

平成29(2017)年度 の学年	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)	平成33年度 (2021) 移転開校	平成34年度 (2022)	平成35年度 (2023)
小学6年	中1	中2	中3			
小学5年		中1	中2	中3		
小学4年			中1	中2	中3	
小学3年		平成33(2021)年度 入学以降の生徒は新 通学区域				
小学2年					中2	中3
小学1年					中1	中2
						中1

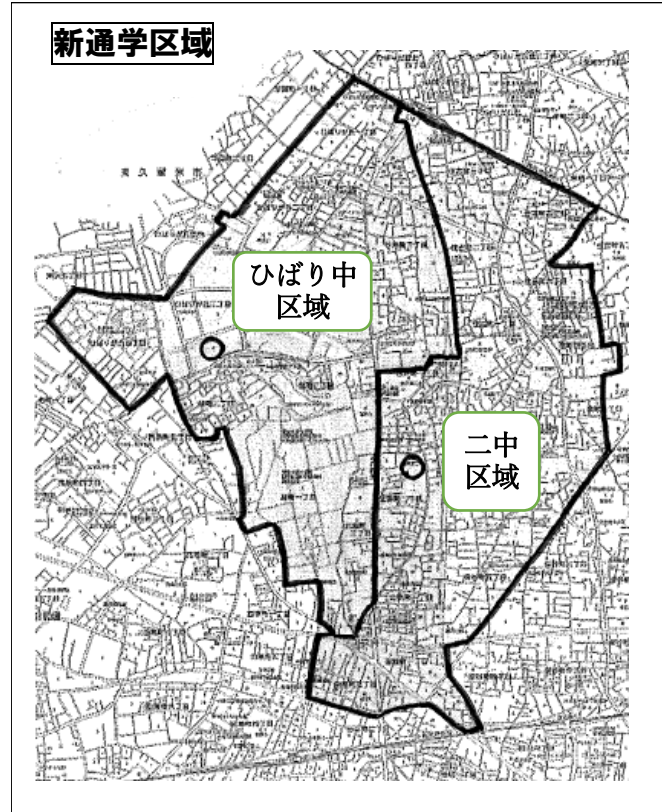
- 指定校変更制度は兄弟姉妹関係を配慮し、運用予定
- 学校選択制度の受入枠は、生徒数と学校施設の状況など総合的に勘案して設定予定

■ひばり中移転と中原小暫定使用の流れ

- ① 中原小学校の建替えに伴い、ひばりが丘中学校の新校舎を中原小学校の仮校舎として約2年間使用します。
- ② 平成 33 年夏にひばりが丘中学校は新校舎に移転し開校します。

	H29(2017)年度	H30(2018)年度	H31(2019)年度	H32(2020)年度	H33(2021)年度
ひばりが丘中学校	新校舎建設			② 転用改修	移転開校
中原小学校		① 中原小学校暫定校舎使用			

■検討結果について



通学区域のわかりやすさ、地域の視点、小学校から中学校への進学先（小中連携の点）の観点から、市民説明会でご意見等を参考に検討を行い左図の通学区域に決定します。

【田無第二中学校区域】
田無町一・三丁目
谷戸町一丁目(1～20番)
北原町一丁目・二丁目
保谷町五丁目(1～4番・7番・10～18番)・六丁目(21～25番)
泉町一・二丁目・三丁目(1～8番・15～17番)・四丁目
住吉町一・二・三・四・六丁目

【ひばりが丘中学校区域】
緑町一丁目(1番)・二丁目(3～21番)・三丁目
谷戸町一丁目(21～27番)・二・三丁目
北原町三丁目
ひばりが丘一～四丁目

- ◇今後の取組
- ・通学区域の見直しに伴う、具体的な制度運用の検討を進めます。
 - ・適切な時期での事前周知に努めます。